



タイトル「**2024年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT3572		
科目名	メディアコミュニケーション論		
担当教員	西田 亮介		
対象学年	2年,3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	水 2		
講義室	1502	単位区分	選,選必
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門展開		
科目小分類	専門・危機管理		
科目の位置付け (開発能力)	<p>■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連</p> <p>DP1-E[学識・専門技能] 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 DP3-G[状況把握力・判断力] 自らの置かれた状況、及び自己が帰属する集団の内外の状況を的確に把握し、適切に対応することができる。 DP4-F[探究力・課題解決力] 問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問 DP4-I[理解力・分析力] 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 DP7-C[他者理解・倫理観・公共心] 人間の行動の正誤に関する推論に正面から取り組み、社会的な存在としての自己の行動原理を獲得することができる。</p> <p>■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック (C R) との関連</p> <p>C1 倫理的思考・社会認識 - 20% E1 学識と専門技能 - 40% F1 探求と論拠 - 10% G1 状況把握 - 10% I1 理解・分析と読解 - 20%</p>		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分	■能力開発の目標ステージとの対応 3 発展期～4 定着期		
科目概要・キーワード	<p>現代の①インターネット、②テレビ、③新聞、④その他のメディア（ラジオ、雑誌、etc）、に関する社会科学的な関心を養い（「日本の①～④の将来（2040年）はどのようなものになるか」）、客観的に理解し、同時に、a.)情報の探索、b.)（簡単な分析とオピニオンを付加した）資料作成、c.)報告、のスキルを醸成する。</p> <p>・難しくはないが、多くの課題や演習、報告等を課すので受講に際しては留意すること。</p> <p>・授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。</p> <p>・授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。</p> <p>■キーワード メディア、コミュニケーション、ニュース</p>		

授業の趣旨	<p>■副題 現代の諸メディアについての客観的理解を深めながら、社会課題解決の基礎を養う。</p> <p>■授業の目的 ①社会人として必要な基礎能力を高める。 ②自己啓発力・能力開発力を高めるために、様々な社会現象／メカニズムを理解、分析する能力の基礎を身につけ、将来の社会の在り方を展望する。 ③コミュニケーション能力を高める。</p> <p>■授業のポイント 現代社会の様々な社会問題の所在を学ぶと共に、自ら主体的に考え、自主創造的な問題意識と多角的な視野を持つ。</p>						
総合到達目標	<p>■グローバルな視点で現代のメディアを総合的かつ多角的に考察する力を高める。知識・スキル・価値観・思考・学習の題材として、社会科学の基礎知識を理解する。また、異文化との交流の重要性を認識するために、異文化との交流を積極的かつ多面的に行う態度を身につける。社会科学的数据の収集・分析・解決に関する技能を習得する。</p> <p>・現代メディアの変化と現状を理解し、社会科学の観点から説明できる。(第1回～15回) ・ミクロとマクロ連関のメカニズムを具体的な事例で比較しながら、多面的に考察することができる。(第2回～15回) ・具体的なメディア・コミュニケーションの諸現象、課題をとりあげ、それをを用いて社会科学の観点で考察できる。(第2回～15回) ・マス・メディアとネットメディアについて、社会科学の研究手法の観点から分析することができる。(第2回～第14回)</p>						
成績評価方法	<p>■授業参加度(70%):適用ルーブリックE1・I1 (評価の観点)その日のポイントについての課題を課す。 (フィードバックの方法)授業内かポータルで解説する。</p> <p>■総括レポート1回(30%):適用ルーブリックI1・I3 (評価の観点)総括レポートを課し、理解度を確認する。 (フィードバックの方法)講評を希望する学生に対応する。</p>						
履修条件	特になし。初回出席必須。非合理的な理由での単位取得の交渉は一切受け付けない。						
履修上の注意点	特になし。毎回ノートPCやタブレットなどを持参すること。教科書は何らかの方法で学期の間手元においておけるようにすること。						
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="464 1218 517 1267">回</th> <th data-bbox="517 1218 1484 1267">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="464 1267 517 1697">1</td> <td data-bbox="517 1267 1484 1697"> ①授業テーマ ガイダンス①ー授業説明 ②授業概要 本授業の内容、目標、学習上の注意点、成績の評価方法などを説明する(A1、D1、I1)。 ③予習(120分) シラバスの内容をよく読み、授業計画や課題について確認する。 ④復習(120分) シラバスの内容をよく読み、授業計画や課題について確認する。 ※下記15回の授業計画については、履修者の事前知識や習熟度、領域比・人数などに応じて最適化するために多少調整する場合がある。変更がある場合には授業内、あるいはポータルにて指示する。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="464 1697 517 2128">2</td> <td data-bbox="517 1697 1484 2128"> ①授業テーマ ガイダンス②ーメディア・コミュニケーション論の予備知識編 ②授業概要 本授業の内容、目標、学習上の注意点、成績の評価方法などを説明する(A1、D1、I1)。 ③予習(120分) シラバスの内容をよく読み、授業計画や課題について確認する。 ④復習(120分) シラバスの内容をよく読み、授業計画や課題について確認する。 ※下記15回の授業計画については、履修者の事前知識や習熟度、領域比・人数などに応じて最適化するために多少調整する場合がある。変更がある場合には授業内、あるいはポータルにて指示する。 </td> </tr> </tbody> </table>	回	内容	1	①授業テーマ ガイダンス①ー授業説明 ②授業概要 本授業の内容、目標、学習上の注意点、成績の評価方法などを説明する(A1、D1、I1)。 ③予習(120分) シラバスの内容をよく読み、授業計画や課題について確認する。 ④復習(120分) シラバスの内容をよく読み、授業計画や課題について確認する。 ※下記15回の授業計画については、履修者の事前知識や習熟度、領域比・人数などに応じて最適化するために多少調整する場合がある。変更がある場合には授業内、あるいはポータルにて指示する。	2	①授業テーマ ガイダンス②ーメディア・コミュニケーション論の予備知識編 ②授業概要 本授業の内容、目標、学習上の注意点、成績の評価方法などを説明する(A1、D1、I1)。 ③予習(120分) シラバスの内容をよく読み、授業計画や課題について確認する。 ④復習(120分) シラバスの内容をよく読み、授業計画や課題について確認する。 ※下記15回の授業計画については、履修者の事前知識や習熟度、領域比・人数などに応じて最適化するために多少調整する場合がある。変更がある場合には授業内、あるいはポータルにて指示する。
回	内容						
1	①授業テーマ ガイダンス①ー授業説明 ②授業概要 本授業の内容、目標、学習上の注意点、成績の評価方法などを説明する(A1、D1、I1)。 ③予習(120分) シラバスの内容をよく読み、授業計画や課題について確認する。 ④復習(120分) シラバスの内容をよく読み、授業計画や課題について確認する。 ※下記15回の授業計画については、履修者の事前知識や習熟度、領域比・人数などに応じて最適化するために多少調整する場合がある。変更がある場合には授業内、あるいはポータルにて指示する。						
2	①授業テーマ ガイダンス②ーメディア・コミュニケーション論の予備知識編 ②授業概要 本授業の内容、目標、学習上の注意点、成績の評価方法などを説明する(A1、D1、I1)。 ③予習(120分) シラバスの内容をよく読み、授業計画や課題について確認する。 ④復習(120分) シラバスの内容をよく読み、授業計画や課題について確認する。 ※下記15回の授業計画については、履修者の事前知識や習熟度、領域比・人数などに応じて最適化するために多少調整する場合がある。変更がある場合には授業内、あるいはポータルにて指示する。						

3	<p>①授業テーマ テーマ①インターネット第1回</p> <p>②授業概要 テーマ①インターネットの研究(A1、D1、I1)。</p> <p>③予習(120分) 授業で学ぶシラバスの内容を読み、講義内容に関する最近のニュースや新聞記事などを把握する。</p> <p>④復習(120分) 前回の授業内容について復習するとともに、理解が不十分な箇所を復習する。</p>
4	<p>①授業テーマ テーマ①インターネット第2回</p> <p>②授業概要 テーマ①インターネットの分析、資料作成(A1、D1、I1)。</p> <p>③予習(120分) 授業で学ぶシラバスの内容を読み、講義内容に関する最近のニュースや新聞記事などを把握する。</p> <p>④復習(120分) 前回の授業内容について復習するとともに、理解が不十分な箇所を復習する。</p>
5	<p>①授業テーマ テーマ①インターネット第3回</p> <p>②授業概要 テーマ①インターネットの報告(A1、D1、I1)。</p> <p>③予習(120分) 授業で学ぶシラバスの内容を読み、講義内容に関する最近のニュースや新聞記事などを把握する。</p> <p>④復習(120分) 前回の授業内容について復習するとともに、理解が不十分な箇所を復習する。</p>
6	<p>①授業テーマ テーマ②テレビ第1回</p> <p>②授業概要 テーマ②テレビの研究(A1、D1、I1)。</p> <p>③予習(120分) 授業で学ぶシラバスの内容を読み、講義内容に関する最近のニュースや新聞記事などを把握する。</p> <p>④復習(120分) 前回の授業内容について復習するとともに、理解が不十分な箇所を復習する。</p>
7	<p>①授業テーマ テーマ②テレビ第2回</p> <p>②授業概要 テーマ②テレビの分析、資料作成(A1、D1、I1)。</p> <p>③予習(120分) 授業で学ぶシラバスの内容を読み、講義内容に関する最近のニュースや新聞記事などを把握する。</p> <p>④復習(120分) 前回の授業内容について復習するとともに、理解が不十分な箇所を復習する。</p>
8	<p>①授業テーマ テーマ②テレビ第3回</p> <p>②授業概要 テーマ②テレビの報告(A1、D1、I1)。</p> <p>③予習(120分) 授業で学ぶシラバスの内容を読み、講義内容に関する最近のニュースや新聞記事などを把握する。</p> <p>④復習(120分) 前回の授業内容について復習するとともに、理解が不十分な箇所を復習する。</p>
9	<p>①授業テーマ テーマ③新聞第1回</p> <p>②授業概要 テーマ③新聞の研究(A1、D1、I1)。</p> <p>③予習(120分) 授業で学ぶシラバスの内容を読み、講義内容に関する最近のニュースや新聞記事などを把握する。</p>

	④復習(120分) 前回の授業内容について復習するとともに、理解が不十分な箇所を復習する。
10	①授業テーマ テーマ③新聞第2回 ②授業概要 テーマ③新聞の分析、資料作成(A1、D1、I1)。 ③予習(120分) 授業で学ぶシラバスの内容を読み、講義内容に関する最近のニュースや新聞記事などを把握する。 ④復習(120分) 前回の授業内容について復習するとともに、理解が不十分な箇所を復習する。
11	①授業テーマ テーマ③新聞第3回 ②授業概要 テーマ③新聞の報告(A1、D1、I1)。 ③予習(120分) 授業で学ぶシラバスの内容を読み、講義内容に関する最近のニュースや新聞記事などを把握する。 ④復習(120分) 前回の授業内容について復習するとともに、理解が不十分な箇所を復習する。
12	①授業テーマ テーマ④その他のメディア(ラジオ、雑誌etc)第1回 ②授業概要 テーマ④その他のメディア(ラジオ、雑誌etc)のリサーチ(A1、D1、I1)。 ③予習(120分) 授業で学ぶシラバスの内容を読み、講義内容に関する最近のニュースや新聞記事などを把握する。 ④復習(120分) 前回の授業内容について復習するとともに、理解が不十分な箇所を復習する。
13	①授業テーマ テーマ④その他のメディア(ラジオ、雑誌etc)第2回 ②授業概要 テーマ④その他のメディア(ラジオ、雑誌etc)の分析、資料作成(A1、D1、I1)。 ③予習(120分) 授業で学ぶシラバスの内容を読み、講義内容に関する最近のニュースや新聞記事などを把握する。 ④復習(120分) 前回の授業内容について復習するとともに、理解が不十分な箇所を復習する。
14	①授業テーマ テーマ④その他のメディア(ラジオ、雑誌etc)第3回 ②授業概要 テーマ④その他のメディア(ラジオ、雑誌etc)の報告(A1、D1、I1)。 ③予習(120分) 授業で学ぶシラバスの内容を読み、講義内容に関する最近のニュースや新聞記事などを把握する。 ④復習(120分) 前回の授業内容について復習するとともに、理解が不十分な箇所を復習する。
15	①授業テーマ 総括 ②授業概要 今までの授業を振り返り、社会科学的な考え方、見方等について自分の言葉で検討できる(A1、A2、D1、I1)。 ③予習(120分) 授業で学ぶシラバスの内容を読み、講義内容に関する最近のニュースや新聞記事などを把握する。 ④復習(120分) 前回の授業内容について復習するとともに、理解が不十分な箇所を復習する。
関連科目	
教科書	
参考書・参考URL	

連絡先・オフィスアワー	■連絡先：ryosukenishida@gmail.com ■オフィスアワー：都度、連絡のこと。
研究比率	■危機管理領域との対応 災害マネジメント5%；パブリックセキュリティ85%；グローバルセキュリティ5%；情報セキュリティ5% ■危機管理と法学とのバランス 危機管理学95%；法学5%



Copyright (c) 2016 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.